

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年1月19日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104225
法人名	株式会社 グロリアコーポレイション
事業所名	グループホーム めぐみの丘坂元
所在地	鹿児島県鹿児島市坂元町878番地1 (電話) 099-248-2355
自己評価作成日	令和4年11月2日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年12月14日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広々とした雰囲気でもまれた自然環境の施設です。四季を感じられるような自然の花々・木々に囲まれています。季節の行事に力を入れ、回覧板の閲覧等により近所の住民との交流を行い、地域社会との繋がりを大切にしています。しかし近年コロナ禍の中で交流が厳しくなっており、とても残念に思いますが、出来る限り入居者様と生活を共にしている中で、一人一人の尊厳や自立支援を目標に家庭的な雰囲気の中で、職員と共にコミュニケーションをとり、居心地良い安心・安全な生活が送れるよう全力で支援して行きます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、町内会からの手作り雑巾や季節ごとの飾り物が届いたり、事業所周辺の草刈は近隣住民の協力があったり、旬野菜のおすそ分けがある等、地域住民との交流が活発である。
- ・職員と利用者は家庭的な雰囲気の中で餃子や団子作りを楽しみ、利用者は職員に気さくに声かけして安心した生活をしている。
- ・運営推進会議はコロナ禍であるが町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得て開催し、事業所の課題についても活発に意見交換を行い、課題解決の方向性を得て行政に相談する等、サービス向上に反映させている。
- ・管理者は興奮傾向にある利用者とも、じっくり話を聞き、気持ちに寄り添い、安心・安全な生活が送れるよう関わっている。
- ・管理者と職員は常にコミュニケーションを図りながら、意見や提案を聞き、働きやすい環境作りをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念・ケア理念はホームの運営に当たり、最も大切である常に職員と共有しながら日々入居者様に寄り添いサービスに力を注いでいます	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念やケア理念を入職時は毎朝唱和し、共有しながら寄り添い実践しケア会議で意見交換して振り返っている。玄関やリビング・事務所に掲示し、パンフレットに掲載している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年町内会に入会して地域の方達と繋がり、年度行事や回覧版を通じて、“めぐみの丘便り”を提示してもらったり、草刈等ボランティアで協力して下さったり日常的に支援しています	町内会に加入し地域との交流を大切に回覧板でホーム便りを提示している。近隣住民の草刈の協力や旬の野菜のおすそ分けもある。町内会からの敬老会のお祝い、手作り雑巾、季節ごとの壁紙が届き、利用者と職員は真心に感謝し、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍で入居者様達の外出がほとんど出来ませんでした、ボランティアの方々が四季折々に折り紙やちぎり絵等の作品やお手紙を届けて下さったり雑巾を作って届けて下さいました		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>コロナ禍での2ヶ月1回の開催は感染状況を見極めて決めております 短時間で内容を濃縮、入居様の状況・報告で・相談等、意見交換して前向きに努力します</p>	<p>コロナ感染拡大中は中止しているが、2ヶ月に1回は町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得て開催し、事業所の活動報告・外部評価結果報告・相談など活発な意見交換を行い、そこでの意見をサービス向上や目標達成計画に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>推進委員会時にホームでの取組方・困難事例の実情を伝え指導を頂いたり、積極的な協力関係を築いている</p>	<p>市担当者とは窓口で申請したり困難事例の相談や電話等で連携を取っている。生活保護担当者とは相談や情報提供・プラン内容を伝え共有しながら連携・協力関係を築いている。介護相談員の受け入れや市主催の研修はリモートで参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>各委員会を設けて委員会毎に勉強会を開き、コロナ禍で外部の研修には制限があり出席出来ません リモート・DVD等で研修をしています 身体拘束の項目はケア会議で必ず取り上げ、常に振り返り全力で取り組んでいます</p>	<p>虐待防止のための指針があり、身体拘束廃止委員会で三原則についてやスピーチロック、ニュースでの事例、介護に関する専門書を用いての勉強会や研修を実施している。玄関の施錠はせずに全員で見守り支援し、外出希望の場合や興奮傾向がある場合は声かけや管理者と話す時間を設けて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	委員会を中心に虐待防止等、ケア会議の度に話し合い、職員と共有しながら知識を深めています。入居者様が心穏やかに日々過ごして頂けるよう努力しています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用する為、現在申請中の案件もあり、職員と共に学び合っております。最大限活用出来るよう支援して行きたいと思っております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に契約に関する資料等を説明して、安心して入居してもらえよう、丁寧に質問等にも理解を得られるよう図ります		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様のご家族様の意見・要望を十分に引き出して、その度連絡したり面会時に話し合いをして、信頼関係を築いております	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会時や必要時電話で利用者の現状について報告し意見や要望を聞く機会を設けている。ホーム便りを3~4ヶ月毎に活動の様子を写真付きで郵送報告し、一筆銭で生活状態や健康状態も同封報告し、意見を聞き運営に反映させるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月初めにケア会議を開催、運営・報告・連絡・相談等、管理者を中心に密度の高いミーティングを行い、意見を出し合い反映させている</p>	<p>管理者は毎月のケア会議や申し送り、日々の関わりの中で職員の意見や提案を聞いている。年度末や必要時に個人面談するなど働きやすい環境作りを心がけている。意見はシフト作り、休みが取れる体制に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>コロナ禍で変化もあり働き方改革や改善手当等、本社からの通達もあり、向上してまいりました。一層の向上心を持って働けるよう職員一同努めます</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ケア会議開催後、しばらくの時間をDVD・オンライン研修会に取り組み（特に現在はコロナ禍の為外部研修は控えています）質の向上に努めています</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の安心相談センターを通じ同業者等の意見交換や勉強会、ネットワーク作りに取り組んでいますが、コロナ禍の中で集まることは無理でした</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前当ホームを見学していただき、ご家族とご一緒に詳細に説明、納得されたのち入居して頂きます。また安全を確保しています</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>グループホームでの入居に当たり、入居者様・ご家族様がどのような生活を望まれているのか取得し、また不安や相談等、傾聴して、その改善策を提供、定期的に連絡することで信頼関係を構築しています</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居者様の状況を初期段階で見極め、日頃の生活状況等を家族から聞き取り、医療機関等の意見も参考にし、支援とサービスを取り入れています</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>掃除や料理・洗濯などの家事を職員だけで行わず、入居者様の能力に応じてできることを一緒に行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に面会や電話で入居者様と家族が交流できるよう声掛けしており、可能な限り支援にかかわって頂くことにより、入居者様が心身共に安定して過ごせるよう努めています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親族や友人の方の面会・電話があった際には楽しい時間を過ごして頂けるよう配慮している 面会等がない方も生活歴等を聴取し、記憶を引き出すよう努めている	面会時は家族との交流を大切に、電話や手紙・葉書の取次を行い、希望でタクシーを使用し買い物支援をしている。理美容は馴染みの訪問理美容師に依頼し、大切にしてきた関係が途切れない支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	会話・コミュニケーションが困難な入居者様に対してはスタッフが会話をつなげ、関りが持てるように支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用(契約)が終了しても気軽に立ち寄れる関係性の継続を図っている 退所されても季節の貼り絵作品等を提供して下さるご家族もいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	これまでの生活歴や今までの日常生活を把握し、入居者様のこだわりなど職員と情報を共有しながら一人一人の思いを支えるよう努めています。また入居者様の立場にたって、ご家族の協力をもらいながら思いに添っています	日常の関わりの中でリビングや居室でゆっくりしている時に思いや意向を聞いている。思いを伝えられない利用者は現在いないが、日々入居者の特性を共有し入所時の生活が維持できることをケア目標にしている。常に生活歴から本人本位に考え思いに添って支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の生活歴を入居者様・ご家族から聞き取り、馴染みの暮らし方、生活環境を変わりなく、またよりいままで生活に近い生活支援を務めております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日にホームのスケジュールがこれまでの生活習慣の過ごし方により近く、また心身の状態は既応歴等でよく把握し、観察・体調管理に努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族・入居者様の意向をしっかりと把握し、ケア会議にて職員と共有し、課題分析し、介護計画を作成。モニタリングを月1回行い、6ヶ月後に総モニタリングを行います。1年後は目標の見直しを行っております	本人や家族の意向、主治医や職員の意見をケア会議で共有し、課題分析し、利用者の健康状態・趣味・特技・趣味を活かした介護計画を作成している。モニタリングを毎月行い、6ヶ月後に総モニタリングを行い1年後に見直し、現状に即した介護計画を作成している。状況変化時はその都度見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日の様子観察個別の対応を行い、介護日誌に記入します また個別の記録も記入します 共有した変化があった場合、ケア会議で話し合い、介護計画の見直しをしていきます		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	多様化している入居者様の思いに沿って一人一人にあったサービスに力を入れています 既存のサービス以外、新聞をみたり、配達の方々と話しをするなど、インフォーマルなサービスを入れています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	孤独感や寂しさ・戸惑いを感じないように、入居者様の心身の状態を把握し、ご家族・町内会の方々と連携を取りながら、必要な支援をしていきます		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に家族に、かかりつけ医について説明をして同意を頂いている 日頃から訪問医との連携を密にして、月2回の受診時指導、処方を受けている	入居時にかかりつけ医について説明し納得し、協力医療機関が主治医となっている。2週に1回の訪問診療と必要時主治医の紹介で他医療機関へ職員同伴で受診支援している。必要時歯科の訪問診療もあり、協力医療機関とは24時間協力体制で適切な医療を受けられるよう支援している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々入居様の健康状態を観察し、月2回の訪問診療時、報告・指示に従い処置を受けている。又早急に必要な際には、随時主治医に報告・指示を仰ぎ、訪問看護とも情報の共有化を図っています</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時は連携シートを利用し、入居者様のADL、また既往歴などをしっかりとシートに記入して、医療側に提供します。また早期に退院できるように退院カンファレンスには参加し、医療側と連携を図っています</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居者様の既往歴、入居された時の状態を見て、重度化した場合のリスクを家族と密に話し合います。重度化した場合、家族・医療側とどこまで治療を行うのか・延命ををを図るのかを協議し、方針を共有していきます</p>	<p>契約時にホームの方針を説明し同意書を貰っている。重度化した場合、主治医から家族に説明を行い、家族の意思確認をして方針を共有しケアに関わっている。家族の意向があれば看取り支援をしている。看取りの実績がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ケア会議でも常に急変時・事故発生時の対応は話し合います 主治医と連携を図りながら早期発見に努めます 応急手当・初期対応の訓練は定期的な研修会を開きます</p>	/		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回防災避難訓練を行い、そのうち1回は消防署の協力のもと、夜間総合避難訓練を行い、入居者様全員参加したりしている 後の1回は自主訓練を行い、常々定期点検し、地域の方たちにも報告したり、災害対策にも協力体制を築いています</p>	<p>年2回防災避難訓練を昼夜想定のうち1回は消防署の協力の下実施している。通報や避難誘導訓練・消火訓練等を行っている。終了後総評と講話を聞き、近隣住民への声掛けで参加協力を得ている。スプリンクラー等の防災機器は業者依頼し定期点検している。地域住民もホーム駐車場が避難場所となっており布団も準備している。備蓄は水・米・缶詰・カップラーメン・レトルト食品等があり、カセットコンロや防災頭巾としての座布団を準備している。</p>	/	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの時間を大切にし、居室で過ごされたい方、リビングで過ごされたい方、それぞれのプライバシーを尊重している</p>	<p>ケア会議などで常にプライバシーや接遇・言葉遣い・電話での対応について勉強会をしている。排泄や入浴時は大きい声での声かけはせず、羞恥心に配慮した対応をしている。呼称は苗字で呼び、利用者に応じて択一を示し自己決定できる支援をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の思いを日々の生活からくみ取り、希望をできる限り取り入れ、言葉かけを工夫し、自己決定をしやすいように支援している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人のペースでその日を過ごせるように見守り、皆で楽しむことは、その都度希望を尊重しながらその人らしい生活を過ごせるように支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ご自分で選べる方は選択するよう支援しているが、季節にあった衣服を選べない方には付き添い、一緒に決めながら対応している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	旬の食材を取り入れたり、一緒に食材カットや後片付けも、できる範囲で行っている	献立は好みを取り入れ、職員が1週間単位で作成している。食材は地域の店舗から取り寄せ、菜園で一緒に収穫した野菜も活用している。食形態は利用者に応じて普通食やきざみ食等で提供している。行事食や敬老の日にはお祝い弁当、誕生日には好みでちらし寿司や稲荷ずし等を提供し誕生会ではメッセージとケーキでお祝いし食べる事が楽しめる支援をしている。後片付けは下膳や台拭きを職員と一緒にしている。	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	一人一人が食べる量（栄養バランス・水分）を把握し、体調管理に努めている 又個別に管理の必要な方は記録に残している		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	一人でできる方は自分でしてもらっている できない方は声掛け介助してケアをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を記入して一人一人の排せつ状況を把握し、声掛けしながら、気持ちよく自力で排せつできるように支援している	排泄チェック表で個々のパターンを把握し、声かけ見守りでトイレでの排泄支援をしている。便秘対策としてヨーグルトや牛乳を提供したり、主治医の指示で薬で調整している。排泄用品は利用者に応じてリハビリパンツやパットを使用しているが声かけトイレ排泄支援で排泄用品の使用量が減少している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて入居者様の排便状態を確認し、その方にあつた方法で便通を促している また牛乳の提供や食事などで食物繊維の多いものを出すよう工夫している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週2回実施している その日の体調等にあわせて時間をずらすこともある 入浴中特に気遣う 気持ちよく入浴できる様声掛けし、入浴の手伝いをしたりしている	週2回の午前中に身体状況に応じて、浴槽やシャワー浴と足湯を希望に応じて行っている。湯温を調整し、順番を決め支援している。拒否があれば無理強いせず声かけを工夫したり時間をずらして入浴支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息中十分な睡眠が取られるように衣類・室内温度調節に気配り、安心して休息が取れるように支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	月2回の訪問診療があり、服薬内容・変更時はその都度申し送りや連絡ノートにて周知を徹底している。また状態の変化などあった場合は医師に報告し、携を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の生活歴などの情報を収集し、生きがいのある喜びを感じて頂けるように努めている。食器洗い等手伝って頂いている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	現在コロナ禍で外出も難しいその中個々に合わせて外の散歩等させて頂いています。また家族との外出も数人実行している	年間計画を作成しているが、コロナ禍で全員での外出支援は難しい。天気が良い日は近隣の散歩や日光浴・外気浴・個別の買物支援をしている。敷地内で桜の花見や食事会を楽しんだり、ツワブキ取り、干し柿作り等でも楽しめるよう工夫している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は入居者様の小口現金を把握しており、必要に応じてショッピング等で使用できるように支援しています。また家族には小口現金の利用状況を面会の際チェックして頂き、印鑑を頂いています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族の方の電話連絡等は電話できるように支援しています。また手紙にやり取りもできるように支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホール内には折り紙や飾り物を提示したり、四季折々の花などを玄関・ホール内に生けている居室内の温度調整・一人一人の健康管理にも気を付け、居心地よく過ごせるよう工夫しています	玄関やホール内には水仙や山茶花など季節の花が飾られホール内には町内会から贈呈された壁紙、利用者と合作のカレンダー・クリスマスツリーが飾られている。テーブルや椅子・テレビ・ソファを設置し、換気や採光に留意し、エアコンで温湿度を調整する等、過ごしやすい環境で居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの居室にて、気の合う入居者様同士でお喋りされております またホールで入居者様の皆さんがTVを観て談笑できるように、腰かけやテーブルの配置を心がけています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各個人の思いでの品や飾り物などをして、入居者様が落ち着いて過ごせる工夫を行っています	居室には身体状況に応じてタイプの違う電動ベッドを設置しエアコンやタンスがある。馴染みのテレビやラジオ・仏壇・位牌・遺影・孫や家族の写真・ぬいぐるみ等、使い慣れたものを持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日課の理解が出来る様声掛け各居室にカレンダーを置き、過ぎた日にちに赤線で線を引く等の工夫をしている		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない